

カジノ反対の市民行動に参加する党市議団（9月3日）



左から ●かわじ民夫(旭区) ●北谷まり(保土ヶ谷区) ●宇佐美さやか(神奈川区) ●大貫憲夫(青葉区) ●みわ智恵美(港南区) ●岩崎ひろし(戸塚区) ●白井まさ子(港北区) ●あらぎ由美子(南区) ●古谷やすひこ(鶴見区)

# 日本共産党

カジノ誘致の是非を問う  
住民投票実施を求め  
市民運動と連帯し、  
力を尽くします。

## カジノ誘致は だまし討ち

2019年第3回定例会は、9月3日から開催され、決算特別委員会の審査を経て、10月16日の本会議での決算諸議案と15号台風対策予算案の議決ですべての日程を終了。

林文子市長の突然のカジノ誘致宣言に対して、各党・各会派がどういう態度で臨むか多くの市民が注目する市議会でした。日本共産党横浜市議団は、カジノ誘致推進にむけて計上された補正予算をはじめとした反市民的な施策・政策には、真っ向から論戦に挑み、問題点を浮き彫りにし、解決の方向を示しました。カジノ関連予算は立憲・国民フォーラムと日本共産党、無所属5人は反対、自公の賛成多数で可決されました。

### 一度も市民に信を問わずに だまし討ち

横浜市の将来に大きな影響を及ぼすことが確実視されるカジノを含むIR（統合型リゾート）の誘致について、林市長は、その是非を市民に問うという民主主義の当たり前の手続きを経ないまま、独断で決めてしまいました。

林市長の2017年7月実施の市長選挙の公約は「IRの導入検討、市民の皆様、市議会の皆様の意見を踏まえたうえで方向性を決

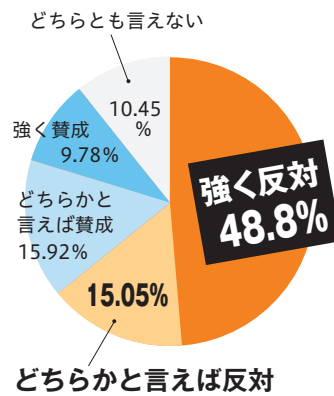
定」というもので、誘致を公約に掲げていません。選挙後も、「白紙」の繰り返しでした。それにも拘わらず一方的に誘致を宣言。党市議団は、「どうしても誘致するならば住民投票を当然のこととして実施するよう」求めましたが、市長は出直し選挙要求とともに拒否しました。

### 地方自治の原則ないがしろ 見過ごすことはできません

林市長のもとで「地域のことは住民自身が決める」とする地方自治の原則がないがしろにされたことを見過ごすことはできません。地方自治法は、こうした事態に備えて、有権者・住民の意思を直接的に地方行政に反映させる仕組みとして直接請求制度を用意しています。直接請求の一つに条例制定権があります。市長が住民投票を実施しないなら、住民の側から誘致の是非を問う住民投票を行う条例提案ができるのです。これは、市民の権利行使であり、この権利を放棄することは市長を安心させるだけです。

党市議団として住民投票条例の制定を求める市民の運動を支持し、その成功に力を尽くします。

市民意識調査  
IR誘致の賛否



神奈川新聞 9月17日付

支持政党ごとの  
IR誘致の賛否

自民党	反対	45.21%
	賛成	44.22%
公明党	反対	62.00%
	賛成	24.00%
日本共産党	反対	85.00%
	賛成	7.500%
立憲民主党	反対	78.98%
	賛成	14.65%
社会民主党	反対	80.00%
	賛成	10.00%
国民民主党	反対	69.23%
	賛成	30.77%
日本維新の会	反対	22.23%
	賛成	50.00%

神奈川新聞 9月18日付

### 市のカジノIR説明会の日程決まる

「私が直接出向いて、市民のみなさんに説明する」…林市長が、市議会で宣言した市民説明会が始まります。10/21に発表されたのは6区、その後、他の区でも説明会が予定されています。市民の声を伝えましょう。参加申し込みはEメールかFAXで。

申し込み期間は 11/8~11/22  
メール: irsetsumeikai@y-offside.co.jp  
FAX:045-661-0604

- 中 区：開港記念会館 12/4 19~20:30
- 神奈川区：神奈川公会堂 12/9 19~20:30
- 西区：西公会堂 12/14 19~20:30
- 金沢区：金沢公会堂 12/19 19~20:30
- 鶴見区：鶴見公会堂 12/21 19~20:30
- 磯子区：磯子公会堂 12/26 19~20:30

問い合わせ先 / 政策局政策課 045-671-4628